

**国民に支持され、
成果を還元する科学技術**
成長と競争的環境の重視
から人へ、
関係における個人の重視

開発投資 < 約25兆円 >

中に政府研究開発投資の対GDP比率が1%、
成長率が平均3.1%を前提としているものである。

**政府研究開発投資が何を
目指すのかを
明確にし、政
策目標に向け
た施策を展開。**

飛躍の発見・究明
~ 未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造

(1) 新しい原理・現象の発見・解明
(2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造

<目標2>
科学技術の限界突破
~ 人類の夢への挑戦と実現

(3) 世界最高水準のプロジェクトによる科学技術の牽引

環境と経済の両立
~ 環境と経済を両立し持続可能な発展を実現

(4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服
(5) 環境と調和する循環型社会の実現

<目標4>
イノベーター日本
~ 革新を続ける強靱な経済・産業を実現

(6) 世界を魅了するユビキタスネット社会の実現
(7) ものづくりナンバーワン国家の実現
(8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化

生涯
~ 子供から高齢者まで

(9) 国民を悩ませない社会の実現
(10) 誰もが活躍できる社会の実現

<目標6>
安全な社会の実現
~ 世界に誇れる安全な社会の実現

(11) 自然災害による被害の軽減
(12) 社会の安全・安心の実現

科学技術の戦略的重点化

推進
一定の資源を確保して着実に推進
に基づく研究は、政策課題対応型研究開発には含まれ

政策課題対応型研究開発における重点化
優先的に資源配分 ライフサイエンス、情報通信、
環境、ナノテク・材料
に資源配分 エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、
フロンティア

**「活きた戦略」を策定し(年度内目途)、重要な研究開発課題を
目標も明確化**
重点投資する「**戦略重点科学技術**」を選定し、選択・集中
の中で、「**国家基幹技術**」を精選し、厳正な評価等を実施

効果的な実施 ~ 「活きた戦略」の実現
確立し、「活きた戦略」の実施
た適切な戦略・資源配分方針見直し、関係府省・研究機
盤強化 など

国民に支持される科学技術

3. 科学技術システム改革の推進

(1) 人材の育成、確保、活躍の促進
・個々の人材が生きる環境の形成 **若手研究者の自立支援、教員の自校出身者比
女性研究者採用の目標25% など**
・大学の人材育成機能の強化、社会のニーズに応える人材の育成 **産学協働の人材**
・次代の科学技術を担う人材の裾野の拡大

(2) 科学の発展と絶えざるイノベーションの創出
・競争的環境の醸成 **競争的資金の拡充、全ての競争的資金において間接経費30%**
・大学の競争力の強化 **世界トップクラスの研究拠点を30程度形成、
地域の大学の活性化を通じた地域再生(「地域の知の拠点
私立大学の研究機能の強化 など**
・イノベーションを生み出すシステムの強化 **産業界の参画による先端的な融合領域**
・研究費の有効活用 **競争的資金以外の研究費も含めた府省横断的なデータベ**
・**円滑な科学技術活動と成果還元に向けた制度・運用上の隘路の解消**

(3) 科学技術振興のための基盤の強化
・優秀な人材の育成・活用を支える研究教育基盤の構築 **老朽化施設の再生を中心とした「第2次国立大学等施設緊急整**
・先端大型共用研究設備の整備・共用の促進、「知的基盤整備計画」の見直し など

(4) 国際活動の戦略的推進
・アジア諸国との協力 **アジア諸国とのハイレベルでの政策対話(アジア地域科学技**

5. 総合科学技術会議の役割